

印刷関連サービスの積算体系を考える ～印刷関連サービス積算体系検討委員会の活動報告と調査結果の紹介～

一般財団法人 経済調査会
調査研究部 第三調査研究室

はじめに

21世紀に入り、情報伝達手段の代表的存在である印刷物を取り巻く環境は大きく変化しました。情報伝達の役割を担うメディアについては、デジタル化の進展により多様化するとともに、マスからパーソナルへの移行が進みました。この結果、マスメディアとして比較的大ロットで利用することが多かった印刷物は、パーソナルメディアとして小ロット・多品種化での利用が進み、国内経済の成熟や少子高齢化の影響もあり、印刷物の全体的な生産量は減少しました。同時に、印刷物の制作そのものを事業の中核とし、「製造業」としての側面が強い印刷企業の事業所数や従業員数も減少の傾向が続いています。

このように、印刷物の利用形態が変化する中、印刷物を効果的に活用するために、製造工程である「印刷」を中心として、その川上方向や川下方向のサービスの重要性が高まっています。例えば、川上方向では顧客の課題を解決するためのプランニング・マーケティングやコンテンツの価値を高めるクリエイティブ、川下方向では制作した印刷物の発送に関わるフルフィルメントやアンケート集計による分析・効果測定などが挙げられます。

当会では、これまで、印刷物制作費に関わる積算体系や料金水準を調査し、その結果を「積算資料印刷料金」(以下、本誌)に掲載してきましたが、これら「印刷関連サービス」について、作業フローに即した積算体系を構築し、本誌にて印刷物の制作および利用に関わる幅広いサービスについての積算・料金情報を提供することを目的として、「印刷関連サービス積算体系検討委員会」(以下、当委員会)を2014年11月に発足し議論を重ねてい

ます。

本稿では、当委員会の2015年の活動を報告するとともに、フルフィルメントサービスの積算体系の把握を目的に2015年に実施した調査の結果をご紹介します。

当委員会の2015年開催状況

当委員会の2015年開催状況は表1のとおりです。

今期は、川下方向のサービスとして、印刷物の封入封緘や発送サービスを中心としたフルフィルメントの積算体系構築と調査実施をメインテーマとしました。同時に、今後、印刷関連サービスの全体像を意識し積算体系を構築していくために、川上方向のサービス(プランニングやクリエイティブ)を整理することをサブテーマとして、議論を展開しました。

表1 印刷関連サービス積算体系検討委員会
2015年開催状況

回数	日時	主な議題
第2回	2015年 2月17日	・印刷関連サービス(ソリューションマップ)の整理について ・フルフィルメントサービスの積算体系について
第3回	2015年 5月19日	・印刷関連サービスの整理について ・フルフィルメントサービスの積算体系について
第4回	2015年 8月27日	・印刷関連サービスの全体像について ・フルフィルメントサービスの積算体系について
第5回	2015年 12月7日	・フルフィルメントサービスの調査結果について ・印刷関連サービス(川上方向)を含めた積算体系について

なお、当委員会の委員および出席者は表2のとおりです。

表2 当委員会の委員および出席者（順不同・敬称略）

出席者名	所属
橋本 唱一	全日本印刷工業組合連合会
山本 久喜	全日本印刷工業組合連合会
鈴木 浩	(一社) 日本グラフィックサービス工業会
藤井 建人	(公社) 日本印刷技術協会
宮本 泰夫	(株) バリューマシーンインターナショナル
久保田 哲司	(一社) 日本グラフィックサービス工業会
水上 太郎	シクミオ (株)
吉中 明臣	シクミオ (株)
池尻 淳一	全日本印刷工業組合連合会
事務局	(一財) 経済調査会

印刷関連サービスに関する調査の実施と結果について

1) 2015年に実施した調査

2015年では、印刷関連サービスに関する印刷関連企業の取り組み状況や積算体系・料金水準を把握するために、表3のとおり、2回の調査を実施しました。

表3 印刷関連サービスに関する調査

調査時期	調査内容	調査対象
2015年 7～8月	印刷関連サービスへの 取り組み状況を確認	・印刷企業
2015年 10～11月	フルフィルメントの積算 体系と料金水準を確認	・印刷企業 ・発送サービス企業

2) 印刷関連サービスへの取り組みに関する調査結果

初めに、2015年7～8月に印刷企業を対象に実施した、印刷関連サービスへの取り組みに関する調査結果をご紹介します。

調査は、書面による郵送調査方式で、印刷関連サービスを図1のように分類し、サービス分類ごとに“受注実績の有無”と“自社で作業対応しているか”をお聞きしました。

調査結果は図2のとおりで、クリエイティブやフルフィルメントについては80%以上、マーケティングに関しては約50%の印刷企業が受注実績を有していることがわかりました。なお、受注実績を有する印刷企業の約50%が、“自社で作業対応している”と回答しています。

この結果から、印刷企業が印刷関連サービスに積極的に取り組む姿勢が確認できます。一方で、マーケティングやクリエイティブについて、調査時点では業務領域の定義が明確でなかったという課題もあり、印刷企業の印刷関連サービスへの取り組み状況およびその業務領域を把握するためには、特に川上方向の印刷関連サービスについては、特に川上方向の印刷関連サービスについて、業務領域を定義付けた上で、継続的な調査を実施していくことが必要だと考えています。

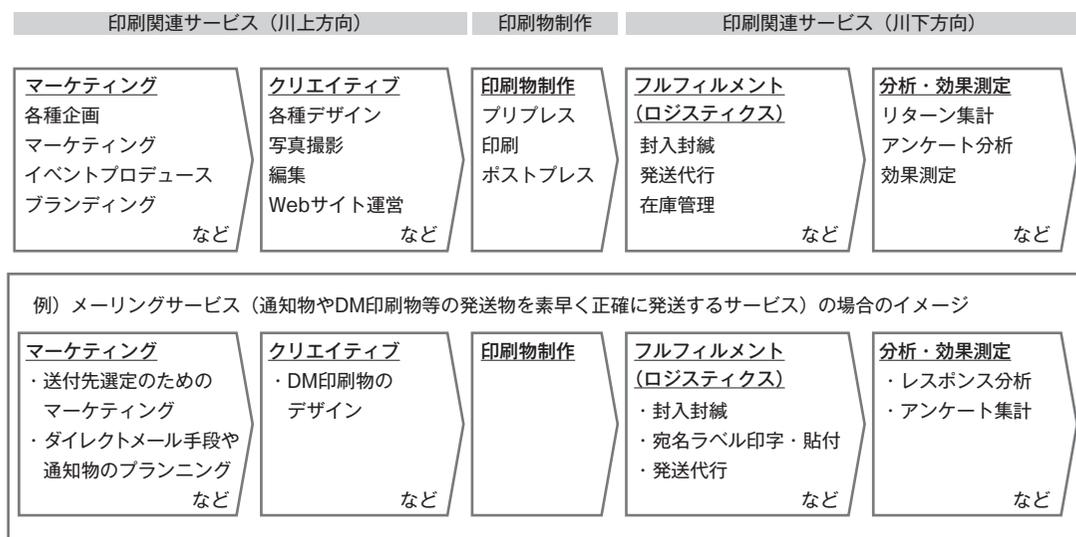


図1 印刷関連サービスの分類例

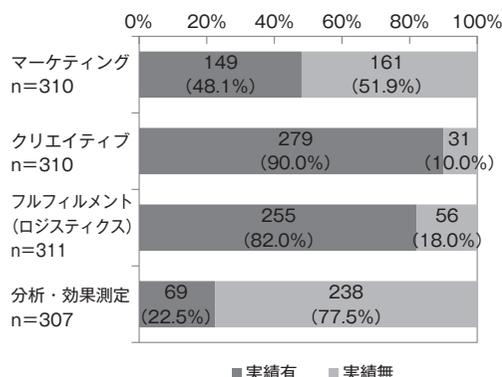


図2 印刷関連サービスへの取り組みに関する調査結果

3) フルフィルメントの積算体系と料金水準に関する調査結果

次に、2015年10～11月に印刷企業・発送サービス企業を対象に実施した、フルフィルメントの積算体系と料金水準に関する調査結果をご紹介します。

調査は、書面による郵送調査方式で、フルフィルメントにおける封入封緘・発送サービスについ

て、“封筒による発送サービス”を表4、“ダンボール梱包による発送サービス”を表5、“発送サービスに関わる倉庫入庫・保管・廃棄”を表6のように分類し、それぞれの作業に関わる料金項目別に料金水準を調査しました。

■封筒による発送サービス

料金項目 封入封緘, 宛名, その他

封筒種類 定型 (長3)

宛名ラベル タックラベル

■ダンボール梱包による発送サービス

料金項目 梱包, 宛名

■発送サービスに関わる倉庫入庫・保管・廃棄

料金項目 入庫, 出庫, 保管, 廃棄

なお、封入物、封筒、梱包物は発注者より支給。

ダンボール代、郵送料・発送費は別途。

調査結果は、“封筒による発送サービス”が表7、“ダンボール梱包による発送サービス”が表8、“発送サービスに関わる倉庫入庫・保管・廃棄”が表9のとおりです。

表4 封筒による発送サービスの料金項目

項目		
封入封緘	基本料 (1点封入) ①	定型 (長3) 封筒にペラを封入封緘
	基本料 (1点封入) ②	定型 (長3) 封筒にDM折りを封入封緘
	点増し作業料①	定型 (長3) 封筒にペラを封入封緘
	点増し作業料②	定型 (長3) 封筒にDM折りを封入封緘
	マッチング料	宛名と封入物のマッチング
宛名	データ変換料	
	宛名ラベル出力	タックラベル
	宛名ラベル貼付	タックラベル
	ダイレクト印字	定型 (長3) 封筒に直接印字 (横印字)
その他	区分作業料	郵便番号区分 (5桁区分)
	郵便持込手数料	近隣局への持込み
	支給物の検品作業料	
	宛名データ入力料	名刺からの入力

表5 ダンボール梱包による発送サービスの料金項目

項目		
梱包	梱包作業料①	1部100gの冊子を50冊で定量梱包 1箱5kg
	梱包作業料②	1部4gのペラを不定量梱包 1箱5kgまで
	ポスター巻き	B1サイズ 1枚での梱包
	ポスター梱包	B1サイズ 100枚をクラフト包装してヤッコ梱包
	荷捌作業料	送り状の貼付
宛名	データ変換料	宅配便送り状用
	送り状出力	
	納品書出力	

表6 発送サービスに関わる倉庫入庫・保管・廃棄の料金項目

項目		
倉庫	入庫料	パレットサイズ：1100×1100mm
	出庫料	パレットサイズ：1100×1100mm
	保管料	パレットサイズ：1100×1100mm 1期（10日）
	廃棄料	古紙類

表7 封筒による発送サービスの調査結果

項目	単位	1,000通	5,000通	10,000通	
		中央値	中央値	中央値	
封入封緘	基本料（1点封入）①	(円/通)	5.0	5.0	5.0
	基本料（1点封入）②	(円/通)	5.8	5.0	5.0
	点増し作業料①	(円/点)	2.0	2.0	1.6
	点増し作業料②	(円/点)	2.0	2.0	2.0
	マッチング料	(円/通)	5.0	5.0	5.0
宛名	データ変換料	(円/式)	8,500	10,000	13,000
	宛名ラベル出力	(円/通)	4.0	3.8	3.0
	宛名ラベル貼付	(円/通)	3.0	3.0	3.0
	ダイレクト印字	(円/通)	5.0	5.0	5.0
その他	区分作業料	(円/通)	3.0	2.0	2.0
	郵便持込手数料	(円/式)	4,500	5,000	6,000
	支給物の検品作業料	(円/時間)	2,000	2,000	2,250
	宛名データ入力料	(円/通)	55.0	50.0	50.0

※調査結果は単純集計値であり、参考値扱いとなりますので、取り扱いにはご注意ください。

表8 ダンボール梱包による発送サービスの調査結果

項目	単位	1,000通	5,000通	10,000通	
		中央値	中央値	中央値	
梱包	梱包作業料①	(円/箱)	150.0	100.0	100.0
	梱包作業料②	(円/箱)	150.0	100.0	100.0
	ポスター巻き	(円/箱)	80.0	60.0	50.0
	ポスター梱包	(円/箱)	200.0	140.0	130.0
	荷捌作業料	(円/箱)	20.0	18.0	15.0
宛名	データ変換料	(円/箱)	30.0	14.4	10.0
	送り状出力	(円/箱)	20.0	18.0	15.0
	納品書出力	(円/箱)	10.0	10.0	8.0

※調査結果は単純集計値であり、参考値扱いとなりますので、取り扱いにはご注意ください。

表9 発送サービスに関わる
倉庫入庫・保管・廃棄の調査結果

項目	単位	料金
		中央値
倉庫	入庫料	(円/パレット) 660
	出庫料	(円/パレット) 600
	保管料	(円/パレット) 1,000
	廃棄料	(円/㎡) 3,000

※調査結果は単純集計値であり、参考値扱いとなりますので、取り扱いにはご注意ください。

なお、料金水準に関する調査結果は単純集計値であり、参考値扱いとなりますので、取り扱いにはご注意ください。また、データ件数（n値）は項目により6～31件で、少ない項目もあるため、集計結果は中央値※のみを表記しています。

※中央値とは

データを昇順に並び替えた際に2分の1（50%）に位置する値。

各企業からの回答を見ると、それぞれの料金項目の分類については、おおむねご理解を得られたと考えています。なお、今後の課題として、以下のご意見を頂きました。

○封筒による発送サービス

- ・封筒の種類における分類が必要(大きさ、定型・定型外、口糊、窓付など)
- ・封入物の種類における分類が必要(折り方、宛名別に封入物を変える場合など)
- ・ラベルの種類における分類が必要(タック・チェッシャー、1シート当たりの枚数など)
- ・宛名データに関する設定が必要(データの量や項目数など)

○ダンボール梱包による発送サービスの料金項目

- ・梱包物の種類における分類が必要(大きさ、送り先別に梱包物を変える場合など)

○フルフィルメント全体

- ・希望納期の設定に対する条件設定が必要(短納期や時間指定がある場合など)
- ・セキュリティに関する条件設定が必要(データの取り扱いや保管、情報漏洩対策など)

当委員会の今後の活動について

ここまでご紹介したとおり、当委員会の今期の活動により、議論のメインテーマであったフルフィルメントサービスについては、積算体系の基本的枠組みを構築し、その料金水準把握に向けた

第一歩を踏み出すことができました。今後は、先に述べた課題を踏まえて、各種条件を設定した上でフルフィルメントサービスの調査を実施し、その結果を基に本誌の次号(2017年版)で取引料金を公表する予定です。

その後、次期の当委員会では、印刷関連サービスの全体像を意識し積算体系を構築していくために、川上方向のサービス(プランニングやクリエイティブ)を整理することを議論のメインテーマとし、活動を継続していく予定です。

なお、現在、当委員会では印刷関連サービスの全体像のイメージとして、図3を議論のベースとしています。

印刷物を含むメディアが多様化する中、印刷関連サービスを付加した取引の増加が予想されるとともに、受発注者双方にとって印刷関連サービスの積算体系整備の重要性が増しているといえます。このため、当会では、継続的に調査を実施し、印刷関連サービスの積算体系構築と料金水準の把握を目指していく所存です。

これまで、当会の各種調査にご協力・ご指導くださった業界の専門家各位、さまざまなお問い合わせの中で本誌にご意見をくださった発注者各位に対し、誌上を借りて深く感謝申し上げますとともに、今後も当委員会にて活発な議論を展開していくにあたり、さらなるご指導・ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

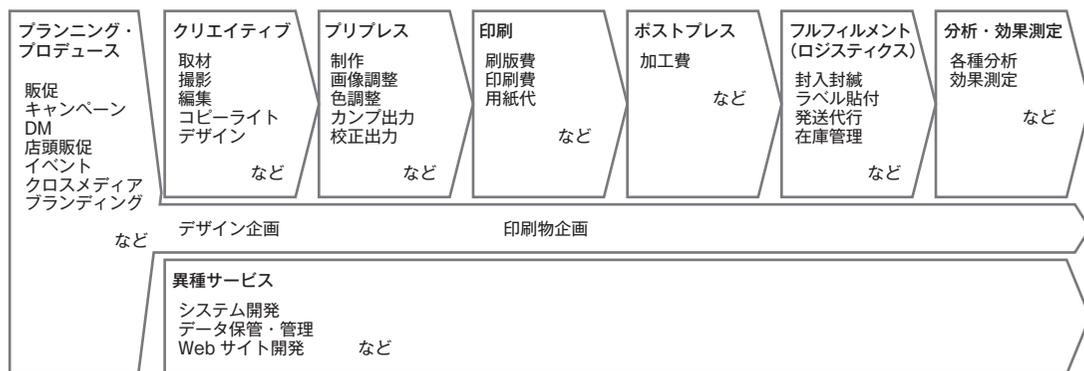


図3 印刷関連サービスの全体像のイメージ